

- ◎ コロナ禍で増加した借り入れが適正な水準化を知りたい。
- ◎ 第三者に引き渡すときのために事業価値を最大化したい。
- ◎ 後継者に引き継ぐ際には個人保証を不要としたい。

FAS財務格付診断表

FAS 形式基準による財務格付けの判定

	債務償還年数						
自己資本比率	～5年未満	～7年未満	～10年未満	15年	20年	40年	50年超
30%超	S 超優良先	A 優良先	B 良好先	D1 要注意先	D2 要注意先	D2 要注意先	D2 要注意先
15%超	A 優良先	A 優良先	B 良好先	D1 要注意先	D2 要注意先	D2 要注意先	D2 要注意先
自己資本プラス	B 良好先	B 良好先	C 正常先	D2 要注意先	D2 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先
自己資本マイナス 債務超過解消年数 3年以内	D1 要注意先	D1 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先
10年以内	D1 要注意先	D1 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先
10年超	E 要管理先	E 要管理先	E 要管理先	E 要管理先	F 破綻懸念先	F 破綻懸念先	G 実質破綻先
	F 破綻懸念先	F 破綻懸念先	F 破綻懸念先	F 破綻懸念先	G 実質破綻先	G 実質破綻先	G 実質破綻先
S	財務状況が極めて良好						
A	財務状況は良好で資金調達に不安が無い						
B	財務状況に問題は無いと言える						
C	財務状況に問題は無い水準だが、ランクアップは必要						
D1	財務状況に課題があるものの金融機関によっては正常先に猶予している場合がある						
D2	財務状況に課題があり、基本的にプロパー融資が難しくなる						
D3	基本的に要注意先となり、3年から5年で正常先に戻れるかが重要（無理ならばD4）						
D4	要管理先＝不良債権となるギリギリの財務状況 改善が必達 新規融資は難しい						
E	不良債権扱いとなり、金融支援はリスクが前提						
F	不良債権として整理対象						
G	金融支援が難しい						

S、Aランク企業を目指すことで、金融機関の格付けランクは上がります。

多くの金融機関が採用しているCRDスコアリングモデルの点数もUP

潰れない会社に近づくことができます。（CRDが証明）

銀行融資が問題なく受けられます（プロパー融資）＝潰れない財務です

S・Aランク企業を目指す＝自己資本比率15% 債務償還年数7年未満を目指し維持する

借入金－所要運転資金＝要償還債務 要償還債務/キャッシュフロー＝債務償還年数